

新年のごあいさつ 「新たな飛躍の年へ」

青森県身体障害者福祉協会

会長 前田 保



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本年も新たな年を迎え、障害当事者は自分の生活している周辺が、生活しやすい環境になっているか、見定める必要があります。なぜなら、今、障害がある人もない人も一緒になって地域社会をつくることが求められているからです。

皆様ご存じのとおり、昨年1月20日、「障害者権利条約」が批准されました。この条約は、障害に

基づくあらゆる差別を禁止し、障害者が他の人と平等に社会へ参加し、地域に包容されることを定めています。

この条約を締結した国は定期的に条約に基づく義務の履行等について報告書を国連に提出しなければならず、第1回目の提出する時期が近づいています。

差別も虐待も障害者にとって見逃すわけにはいきません。身近なところから検証すべきであると考えます。

本年も皆様の協力のもと、様々な課題に一丸となって取り組んで参りたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

「第40回青森県身体障害者福祉大会・つがる大会を開催」

平成26年11月9日、つがる市生涯学習交流センター「松の館」において、第40回青森県身体障害者福祉大会・つがる大会を開催しました。県内各地より250名余りの参加がありました。

まず、開催に先立ち「縄文荒吐会」による太鼓演奏があり、会場から大きな拍手が湧き上がっていました。

式典では、長年にわたり障害福祉に貢献された方々、昨年度、東京都で行われた全国障害者スポーツ大会において優秀な成績を残された方々へ知事表彰、会長表彰が授与されました。

その後、大会宣言と大会決議が提案され、満場一致で承認されました。

ご多忙中にも関わらず多くの方に参加していただき、おかげさまで大成功のうちに大会を終了することができました。また開催にあたり、つがる市社会



福祉協議会及びつがる市役所職員の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。

来年度は、むつ市での開催となります。多くの方々のご参加をお待ちしております。

要望事項

1. 障害者差別解消法により社会的障壁をなくし、合理的な配慮に関する環境の整備に努めていただきたい。
2. 災害弱者である障害者に対応したきめ細かい防災対策を、強力に推し進めていただきたい。
3. 全県をあげて、市町村身体障害者福祉会の活動が活性化されるよう、行政や地域社会福祉協議会などの関係団体の支援をいただきたい。
4. 身体障害者相談員が県内全市町村に配置され、相談支援の充実が図られるよう強力に推し進めていただきたい。
5. 障害者の社会参加の拠点である「ねむのき会館」の老朽化に対応した改築と、ねむのき会館事業の充実を図っていただきたい。

県知事要望について

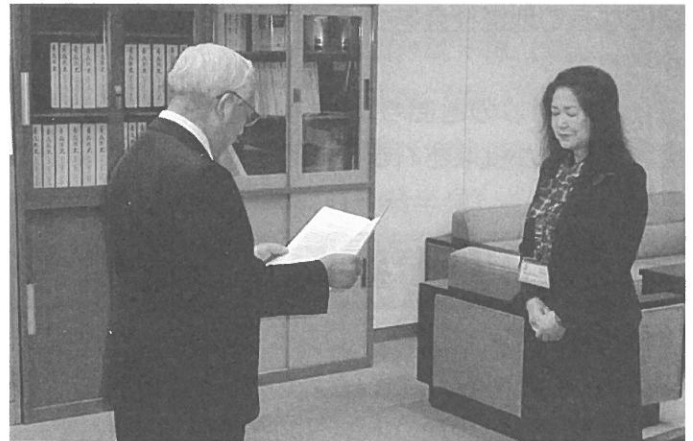
平成26年12月11日、青森県庁を訪問し、前田会長から健康福祉部の鈴木日登美次長へ、青森県身体障害者福祉大会・つがる大会において決議された5項目の要望事項を提出し協力を要請しました。以下、鈴木次長から回答をいただきました。

【要望事項に対する回答】

1. 本県でも平成25年3月に「青森県障害者計画」を策定し、基本理念を掲げ、障害者が社会に参加できる環境づくりに努めており、今後も障害者に対する合理的な配慮の普及に努めていきます。
2. 平成26年度から各市町村で避難行動要支援者名簿の作成が義務付けられるなど、市町村の役割は大きくなっております。また、福祉避難所の確保については、現在未確保の市町村において確保に向けて検討が進められています。災害への対策については、市町村に対してより一層の取組強化を進めるよう働きかけていきます。
3. 各福祉会については、インターネットの普及などから、障害者が様々な情報を福祉会に加入せずとも入手できることなどから、会の組織力が下がってきているのではないかと感じています。このような中で、組織の力を高めるために

は、いかに魅力ある団体となり、何が参加者に返ってくるものがあるのかを示していくことが必要ではないでしょうか。

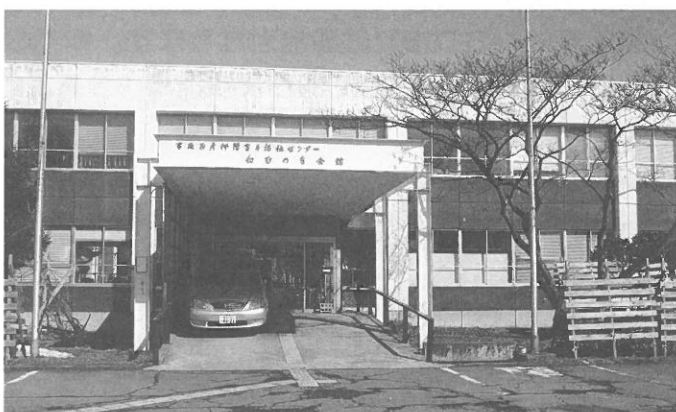
4. 身障相談員については、その相談実績が極めて少ないという実情もあり、市町村としても実績の少ない案件に費用を投入することを避けたいという事情も考えられます。相談員を効果的に活用する内容について、直接市町村に理解してもらうような対応も必要だと考えます。
5. ねむのき会館の老朽化への対応が必要であることは理解しています。今後も会館の指定管理者と協議し適切な対応を検討していきたいと考えます。



「ねむのき会館」の指定管理者について

県身協は、平成18年度から平成26年度まで3期(9年)「ねむのき会館」の指定管理者を受託してきました。

県が4期目として5年間(平成27年度から平成31年度)の指定管理者の募集を行ったことを受け、県身協は指定管理者に申請いたしました。



年月日	※ 経 過 (内 容 等)
H26. 6	県ホームページに平成27年度以降の指定管理者募集について掲載
H26. 7. 10	県が「ねむのき会館」において現地説明会を実施
H26. 8. 22	「ねむのき会館」の指定管理者について県に申請
H26. 9. 17	県指定管理者審査委員会に出席し説明
H26. 10. 29	県身協が指定管理者の候補者に決定
H26. 12. 9	青森県議会第280回定例会において「指定管理者指定の件」議決
H26. 12. 17	青森県指令第2839号にて「青森県指定管理による公の施設の管理に関する条例第2条の規定により、青森県身体障害者センターねむのき会館の指定管理者に指定する。」通知あり。

◎今後の対応について

今後は、県と県身協が「基本協定」及び「年度協定」を締結し、平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間について県身協が指定管理者を受諾することになります。

第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」



第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」が、「君の夢はばたけ今

ながさきから」のスローガンのもと、平成26年11月1日～3日の3日間、長崎県立総合運動公園陸上競技場を中心に開催されました。

青森県選手団は、個人競技に選手28名、役員22名、計50名が参加しました。

10月30日、青森空港にて結団式を行い、青森県知事から前田保団長に団旗が授与され、激励の言葉、団長謝辞、選手代表決意表明の後、長崎県へと向かいました。

11月1日に行われた開会式では、前田団長と旗手の及川収馬選手を先頭に30名が入場行進をしました。午後から各会場にわかれ3日間の競技が始ま

りました。

大会1日目、2日目は雨や風の影響もありましたが、選手の皆さんは全力で競技に挑み、金9個、銀2個、銅6個の合計17個のメダルを獲得しました。

各会場では、他県の選手団、ボランティア、地元長崎県の皆さんとも交流を深め思い出に残る大会となりました。

大会参加にあたってご協力いただきました各関係団体、ボランティアの皆様をはじめ、ご支援いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

なお、次回の全国障害者スポーツ大会は平成27年10月24日～26日の日程で和歌山県内で開催される予定です。



第2回ねむのき杯ボッチャ大会・県内各地でボッチャ教室を開催



平成26年度身体障害者スポーツ振興基金運営事業として、平成26年10月18日、ねむのき会館体育館を会場に第2回ねむのき杯ボッチャ大会を開催しました。

県身協加盟団体会員を中心に27名が参加し、3対3のチーム戦によるレベルの高い試合が繰り広げられていました。



今年で2回目となるこの大会は、障害を問わずどなたでも参加でき、どの選手も試合を重ねる度に技術が向上している様子がうかが

えました。

予選リーグ・決勝リーグを行い優勝したチームには、優勝カップと副賞が授与され、2位、3位のチームにもトロフィーと副賞が贈られました。

また、今年度は11月～12月にかけて、県内4ヶ所（五所川原市、むつ市、五戸町、黒石市）で、ボッチャの普及と指導者の養成を目的にボッチャ教室も開催しました。4会場で延べ77名のご参加をいただきました。

ボッチャは初めての方でもルールをすぐ覚えられ、体力よりも頭脳を使うスポーツです。ボッチャ教室ではルール説明や投球練習を行った後に交流試合をして楽しみました。交流試合では熱の入った場面や歓声上がる場面がたくさんありました。

来年度もボッチャ教室の開催を予定しております。日程が決まり次第各加盟団体へご案内いたします。ボッチャ大会・教室ともに皆様のご参加をお待ちしております。



日本身体障害者福祉大会参加の旅(宮崎)へのご案内



第60回日本身体障害者福祉大会が、平成27年5月25日(月)・26日(火)の日程で宮崎県宮崎市において開催されます。

県身協では、3泊4日の日程で「大会参加の旅」を企画しました。内容は、福祉大会参加のほかに、阿蘇山、高千穂峡、青島、飫肥(九州の小京都)等を予定しています。また、リゾートホテル宿泊や酒泉の杜工場見学などをお楽しみいただけます。

- 【旅行期日】 平成27年
5月24日(日)～5月27日(水)
- 【旅行代金】 お一人様 109,000円(予定)
※大会参加費含む
- 【募集人数】 30名
- 【申込方法】 平成27年3月20日(金)までに県身協事務局へ申込書にてお申し込みください。



旅程の詳細や申込書は、1月下旬に各市町村身障福祉会長宛てに送付いたします。皆様のご参加をお待ちしております。



- 1日目 5/24(日) 青森空港(9時半頃)→羽田空港→熊本空港→阿蘇山→高千穂(泊)
- 2日目 5/25(月) 高千穂峡→宮崎市内→照葉大吊橋→酒泉の杜→宮崎市内(泊)
- 3日目 5/26(火) 大会参加(午前)→青島→日南海岸→飫肥→宮崎市内(泊)
- 4日目 5/27(水) 宮崎市内観光→宮崎空港→羽田空港→青森空港(16時半頃)



ねむのき冬祭りのお知らせ

障害者及び地域住民の交流、また冬場の運動不足解消を目的として、毎年恒例のねむのき冬祭りを開催します。

日 時	平成27年2月28日(土)10:30～14:30
場 所	青森県身体障害者福祉センター ねむのき会館「体育館」他
内 容	ゲーム、レクリエーション、よさこい (出演:チームこぼし・舞鼓童)など

※参加費、昼食(カレーライス)無料

お問い合わせ、参加ご希望の方は、ねむのき会館事務局(017-738-5033)までご連絡ください。申込書での参加受付となります。

当日は、上履きをご準備して下さい。



第1回障害者福祉に係る研修会のお知らせ

障害者の社会活動への参加と自立を推進するため、地域社会との交流の一環として、障害のある人もない人も一緒に参加し、地域づくりの方法を学ぶことを目的として、研修会を開催します。

日 時	平成27年2月28日(土)10:00～12:00
場 所	青森県身体障害者福祉センターねむのき会館 2階「大研修室」
内 容	毎日笑っていますか?ほほえんでいますか? “笑い”や“ほほえみ”は、とても強いパワーを持っています。「ほほえみ」と「笑い」の力であたたかい地域作りを推進する「青い森のほほえみプロデューズ推進協会」の方を講師に迎え、ほほえみプロデューサー講習会を実施します。みなさん一人一人がほほえみプロデューサーとなり、みなさんの住んでいる地域を「ほほえみ」と「笑い」で元気にしましょう!

参加費は無料です。障害の有無を問わずどなたでもご参加できます。申込書での参加受付となります。参加ご希望の方は、県身協事務局までお願いします。